

# 環境カウンセラーちば

第54号  
特定非営利活動法人  
環境カウンセラー  
千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省により認定された環境に関する専門家です。  
地球温暖化対策、廃棄物対策、水環境問題、環境教育・環境学習、環境経営システム のことなど、  
お気軽にご相談下さい。

## 2018年度の活動を振り返って

理事長 見並 勝佳

平成という時代は4月で幕を閉じます。元号で世の中が動くとは考えられませんが、世界情勢変化とその影響を受けた国内の政治、経済、社会文化でのこの30年の変化は大きなものでした。地球温暖化問題を例にすると、この30年間に世界的にも国内でも異常気象が増大していて、これまでとは違う対応策が必要となってきています。

昨年4月の第5次環境基本計画で、「地域循環共生圏」と6つの重点戦略が設定されました。国際的枠組みの「パリ協定」が発効し、脱炭素社会へ向けた大きな転換の第一歩がスタートしました。また、SDGs(持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals)に対する認識が広がり、その取組事例が活発に発信されるようになってきました。更に、昨年10月にIPCC特別報告書「1.5℃の地球温暖化」が発表されました。温暖化の影響を具体的・科学的に示したものです。この報告書をどのように活用するかが将来の人類の生活に大きな影響を与えるとの意見もあります。さらに、ややジャーナリストックですが、昨年来「海洋プラスチックごみ」の問題が大きくクローズアップされています。これらに共通することは、私達日常生活・事業活動でのライフスタイルの見直しが求められていることです。

EC千葉も昨年に設立20周年を迎え、5月26日に開催した通常総会から次の10年に向かって動き出しました。具体的には、毎月月初めの理事会、EMS支援センター、環境学習センターの定例会議開催の実施と定例会議の前半をメンバー相互の研鑽・情報交換の場としてきました。今後も会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

具体的活動としては、環境公開講座、環境イベント参画(エコメッセと他4市のイベント)、自然観察会とフィールドワーク(大多喜町、南房総市)、うちエコ診断の実施(2市)、県浄化槽講習会での講師、企業環境セミナー、内部監査員養成講座、エコアクション21普及セミナーの開催、さらに「環境教育応援団」として初の講師派遣(旭市)がありました。環境カウンセラー研修(関東地区)でEC千葉は専門研修の1つ「地球温暖化対策」を担当し、ファシリテーターを務めました。

本年もこれらの活動を継続し、着実に実行してゆく予定ですが、いかんせん実際に実行に携わる人が限られているのが現状です。会員の高齢化・会員数の減少はいずれのボランティア団体にも共通の悩みです。特効薬はありませんが、環境カウンセラー制度の改善を環境省へ要望していきます。

さらに、今年は役員改選の年でもあります。可能な限りの若返りと参画人数の増大を期待しています。今年がEC千葉の「次の10年」への新たな飛躍への第一歩にふさわしい実り多き活動ができるよう皆様のご協力をお願いいたします。

## 2018年度のEC千葉の活動

第16回通常総会	5月20日	千葉市民会館特別会議室
特別講演会(環境公開講座)		「チバニアン」認定への展望
20周年記念行事		20年継続会員への感謝状贈呈 20周年記念懇親会
エコメッセ 2018 in ちば	10月8日	幕張メッセ国際会議場
かまがや環境パネル展	6月4～22日	鎌ヶ谷市役所一階ホール
	10月4～17日	
かまがや環境フェア	10月13日	鎌ヶ谷市役所
船橋市環境フェア	6月23日	船橋市三番瀬環境学習館
ふなばし市民活動フェア	2019年2月3日	船橋市民活動サポートセンター
君津市消費生活展	7月21日	君津市生涯学習交流センター
健康と福祉のふれあい祭り	10月27日	君津市保健福祉センター
木更津市オーガニックフェスティバル	11月25日	スパークルシティ木更津
白井市環境フォーラム	2019年1月24日	白井市保健福祉センター
大多喜町環境教育プログラム	7月8日	大多喜町基幹集落センター(老川出張所)沿い養老川
南房総市丸山川「生き物調べ」	8月5日	南房総エコネット行事への協賛
自然観察会「皇居東御苑」	5月31日	皇居東御苑で学ぶ生物多様性 ～江戸の園芸文化(花菖蒲)～
自然観察会「千葉県立中央博物館 - 生態園」	10月20日	房総に生きる動植物のありのままの生態観察
平成30年度浄化槽講習会	10月13日	横芝光町町民会館
	11月10日	南房総市さざなみホール
(美しい作田川を守る会会員対象)	11月7日	東金市役所大会議室
野田市「親子水環境体験教室」	11月17日	野田市市役所会議室
エコアクション21普及セミナー	7月20日	千葉商工会議所会議室
企業環境セミナー	11月16日	千葉商工会議所会議室
エコアクション21審査員力量向上研修会	2019年1月21日	千葉商工会議所会議室
内部監査員養成講座	5月14,15日、9月13,14日 (ISO 14001)	
会場: 千葉商工会議所研修室	6月14,15日、10月11,12日 (ISO 9001)	
関東地区環境カウンセラー研修 [2019年1月15日、東京代々木・オリンピック記念青少年総合センター] (地球温暖化対策分科会コーディネーター: EC千葉・橋本正理事)		
エコ検定試験受験対策講座	6月30日(集中講座)	
うちエコ診断事業	診断実施件数: 18件 エコメッセ、千葉市、木更津市、白井市などで診断実施	

(注) ここにはEC千葉が実施した活動と参加した環境イベント等の行事をまとめました。

この他に、他の機関・団体・学校等での講演会講師・出張授業の活動も行っています。

## 表彰受賞者

環境大臣表彰	辻川 毅 氏	6月13日	地域環境保全功労者表彰
ECU理事長表彰	久保田 隆 氏	6月22日	環境保全功労賞
ECU理事長表彰	青木 誠 氏	6月22日	環境保全功労賞

これらの活動の具体的内容は、EC千葉ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<http://ecchiba.sakura.ne.jp/>  
[スマートフォンでもパソコンと同じ画面で見ることが出来ます。]

## 【水環境対策センターの活動】

### 浄化槽講習を主とした水環境対策活動を千葉県内一旭市・野田市一に拡大

平成30年度の水環境対策センターの活動は、千葉県・千葉県浄化槽団体連絡協議会主催「浄化槽講習会」の継続と千葉県内の旭市での「環境教育応援団講師派遣等依頼」および野田市「親子環境・体験教室」への講師派遣要請と市役所独自の「水環境学習会」の実現に拡大してきた。

これまでは千葉県・浄化槽講習会が主な活動であったが、今年度は新たに旭市・野田市への「水環境対策センター講師」の派遣に至ったことは、浄化槽講習会の長年の活動が浸透してきたものとセンター員の皆様の努力の成果と関係者に感謝いたします。



左の写真は旭市「新川汚染防止推進大会」の会場全景です。旭市・匝瑳市・東庄町を流れる「新川」の汚染防止を呼び掛ける作文・標語・ポスターの優秀作品の表彰があり、その表彰の後にEC千葉水環境対策センターが講師を務めて講演を行った。参加者177名（講師2名含）と多く、やり甲斐のある活動でした。

平成30年11月16日（金）15:00～16:00に実施。



左の写真は野田市「親子環境・体験教室」の写真です。野田市は千葉県主催、浄化槽講習会を過去に3回実施、その都度野田市独自での開催を具申して7年、今年度ようやく実現した。

将来を担うお子様に主眼を置いた講習会を開催し、真剣に実習に取り組んでいただき、好評でした。

平成30年11月11日（土）10:00～12:00実施。

旭市と野田市の今回の講演依頼は、千葉県・浄化槽県連団体連絡協議会主催、浄化槽講習会がきっかけであり、千葉県内において浄化槽講習会が広く認知されてきたことと思います。



平成30年度の浄化槽講習会は、横芝光町・東金市・南房総市の3会場で開催されました。

左の写真は南房総市の実習で、pH測定を参加者は興味津々の様子です。

浄化槽講習会も合計101回、1,386名を数える実績になった。「浄化槽使用者向け講習会」は今後も継続してゆくことを水環境対策センター活動の柱としたい。

また、今後は「点」から「面」の展開に拡大することが重要です。会員各位の御協力をお願いいたします。

（文責・上口清彦）



## 【平成30年度自然観察会報告】

今年は、春と秋の二回実施しました。

春：皇居東御苑で学ぶ生物多様性と  
江戸の園芸文化（ハナショウブ）

日時：平成30年5月31日（木）曇

場所：皇居東御苑

講師：渡辺忠明様

参加者：27名（男性10名、女性17名）

その様子は後の感想文から思い浮かべていただければ幸いです。

秋：房総の多様な森林・草地など、そこに生きる動植物のありのままの生態と観察。

日時：平成30年10月20日（土）晴

場所：県立中央博物館「生態園」

講師：学芸員 由良浩様

参加者：14名（男性2名、女性12名）

近年、博物館ではこのような野外博物館への取り組みが多くなっているようです。

しかし、そのイメージが湧かない方もあり、EC千葉会員の参加が非常に少なく残念でした。

参加いただいた女性の方々には楽しんでいただけたようでほっとしています。

その様子は、参加者の感想文からお汲み取り下さい。

（文責・吉田昌弘）

### 〈 謎解きで始まった皇居東御苑自然観察会 〉

1. 野生の原種のバラが大切なのは何故？
2. 冷温帯の植物が、暖温帯の武蔵野雑木林として残されてきたのは何故？
3. 人手が加わり続けた二次林が、人手の加わらない原生林と同様に大切なのは何故？
4. その二次林である二の丸雑木林が、多種多様な貴重種や絶滅危惧種をも残す、自然のままの雑木林なのは何故？
5. 江戸時代の園芸文化の方が、現代のそれより優れていたのは何故？…などなど。

皇居の一角に位置する「皇居付属庭園」が今回の舞台。

首都東京のど真ん中、東京ドーム4.5倍の広さに、森や草原・水辺に棲むいろいろな生物が生息する豊かな生物多様性の世界。更にこの地は、ヒートアイランド現象の緩和地帯でもあり、堀の内と外との気温差は最大4度程もあるとの事、さもありませんと納得です。

「共に分かち合いたい」、との天皇陛下の思いが込められた「森のお引っ越し」で実現した武蔵野の面影を残す再生雑木林。そこには様々な木々や動物たちが生きています。

環境の劇的変化によって、世界中の生き物たちが棲みかを追われつつある今、このように多様な遺伝子を持った個体が多く生存している地は本当に貴重です。

病気に強い個体、寒さに強い個体、乾燥に強い個体、と様々な遺伝子を持った個体が生存していれば、特定の病気や気象などの変化があってもどれかが生き残れる、それが生物多様性の大切さの所以だということが分かります。



その事を理解されている天皇陛下が、心を傾けられたのが、この地にその自然を残す事でした。

今年は花の開花が早く、皐月やギンランなどの美しい花を見る事は叶いませんでした、が、堀を挟んで直ぐそこに日本の首都があることを忘れさせてくれる空間、何度来ても心がシンと洗われる場所です。

講師の渡辺さんならではの話を聞きながら歩くこと約1時間半、そろそろ足取りに重さを感じ始めた頃、曇空からポツンと一滴、また一滴と雨粒が…。

その時、突然“わあっ！”と湧きあがった歓声。その方向に目を向けると、そこにあったのは今を盛りとばかりに咲き競う艶やかなハナショウブの群れでした。

これぞまさしく「江戸園芸文化」！ その群れを背景にパチリと一枚、ハナショウブに負けない女性陣の笑顔がはじけた贅沢な時間でした。  
(佐藤ミヤ子)

## 〈 千葉県立中央博物館「生態園」秋の自然観察会に参加して 〉

鍵谷陽子

当日は気持ちの良い秋晴れ。

ススキや葛の原、アケビの実など、日本の秋の風景の中を散策しつつ学芸員の方からレクチャーを頂くと素晴らしい企画で、ほんの1時間半でしたが、心身ともにリフレッシュさせて頂きました。

7歳の娘にも自然の素晴らしさや不思議さに触れる機会をと願い親子で参加をさせて頂いたのですが、植物や虫など、そこに息づく命のありのままの姿に触れつつ説明やエピソードを聴かせて頂くひとは、正に生きた学びの時間でした。

スタート地点にあったヤドリギの不思議な生い立ちから始まり、いくつかあるドングリの種類の見分け方、ヤツデの葉は実は八つではなく、九つや七つなど奇数に分かれている事、ススキの足元にひっそりと咲く（というか寄生する）ナンバンギセルの生態など、興味深い植物の素顔、横顔…。

特に印象に残ったのはスタジイの木。ドングリと言っても様々な種類がありますが、パツクリと三つに割れたような帽子から顔を出したスタジイの実は、殻を割って食べてみると、なんと甘い！！昔、子供にせがまれて、よくあるドングリでクッキーを作ったことがありましたが、何度も茹でこぼし、炒って…と大変な手間をかけてもまだ渋い、という記憶がありましたのでこれには大変驚きました。

人間同士でもそうですが、木々や花々でもその個性や生い立ち、長い歴史の中での人間との関わりなど知れば知るほど親しみが湧きます。そういう意味で、今回の観察会は、単なる知り合いだった草木と改めて友達になれた…そんな喜びを頂きました。

娘も、お話を聞き漏らすまいと学芸員の方のそばに駆け寄り、耳を傾けてはしばらくその場にしゃがみこんでその植物を飽かず眺めていました。何か対話があったのでしょうか。

帰り際に感想を聞いたら、もっとゆっくり見たいからもう一度来たいとのこと、私も同感です。

生態園には、房総の自然が再現されているそうです。以前よりも、少しだけ開かれた目で見渡せば、ここで出会った美しい風景や様々なエピソードを持つ木や草花たちとも、あちこちで再会出来るのだと思うとわくわくします。

知ることは愛する事のはじまり。

このような機会を用意して下さいましたEC千葉の皆様から感謝しております。





## 【開催報告】 大多喜町環境教育プログラム

### 「わくわく探検隊～自然となかよし～」

房総で3番目に長い川の養老川の源流で、「自然を大切に」するだけでなく、「自然や環境のために行動できる」子どもたちを育成することを目的として、昨年度からはじめた「大多喜町環境教育プログラム」を大多喜町教育委員会の後援のもとに、平成30年7月8日(日)に大多喜町周辺の子ども達を対象に開催しました。

当日は、夏休み前の好天で、16名の子ども達が集まり、養老川に合流する外出川（とでがわ）で、ひんやりとする水辺に足を踏み入れて、多くの生きものや植物が身近に生育しているのを実感しました。

さらにすぐ近くに90年余り前から約40年間稼働していた面白峡（おもじろきょう）小水力発電所が4年前に復活し、これからわが国で重要とされる再生エネルギーによる発電の説明を聞いたあと、その現物を見学しました。通常では無人で運転されていて見学もすぐにはできませんが、管理をされている(株)関電工殿の特別のはからいで間近で見学することができ、子ども達は大喜びでした。

その後、身近で当日確認した自然を各自に絵に描いてもらい、感想を述べあいました。

当日のスタッフは、森川、志澤、綿貫、國井、國廣で、市原市立石塚小学校長の永島絹代先生、千葉県東上総教育事務所の渡邊紀子先生及び印西市民の蛭川憲男様にも協力していただきました。



面白峡小水力発電所において



平成30年度大多喜町環境教育プログラム

2018.07.08



平成30年度大多喜町環境教育プログラム

2018.07.08



平成30年度大多喜町環境教育プログラム

2018.07.08

#### 写真集

#### 平成30年度大多喜町環境教育プログラム

#### わくわく探検隊 ～自然となかよし～

外出川の生きもの探し  
面白峡小水力発電所見学

開催日  
平成30年7月8日(日)

主催  
NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会

後援  
大多喜町教育委員会

協力  
大多喜町環境水道課  
株式会社 関電工殿

## 【開催報告】

## 「第21回企業環境セミナー」

2018年11月16日(金)13:00~16:30に、千葉商工会議所第2ホールにおいて、今から21年前(1998年10月)から継続している「企業環境セミナー」を開催しました。

現在はISO14001及びISO9001の2015年版への移行猶予期間が満了した時点であり、その規格改定で、組織の目的や戦略的方向性に関する課題や利害関係者のニーズ・期待を考慮したリスク及び機会への取組みなど、具体的にどのようにすべきか悩んだり、確信が得られず迷ったりしている事業者が多いと考え、今回のテーマは昨年(前回)と同様に、「2015年版改定ISOへの対応及び実践」としました。

第1部 講演として、

- ・「2015年版EMS/QMSの活用状況～環境/品質ISOを使いこなす～」

株式会社日本環境認証機構の研修事業部長 三浦 和行様

重要なポイントとして規格要求事項のままでは理解しがたく「行間を読むこと」が大切とされ、その要点を説明していただきました。

第2部 事例紹介として、

- ・「2020東京オリンピック・パラリンピック卓球競技の成功に向けて」

株式会社三笠の品質管理室長 松井 善也様

該社製の卓球台の開発を通してオリンピック用に採用された経緯と2015年版ISOのマネジメントシステムの運用とのマッチングについて紹介していただきました。

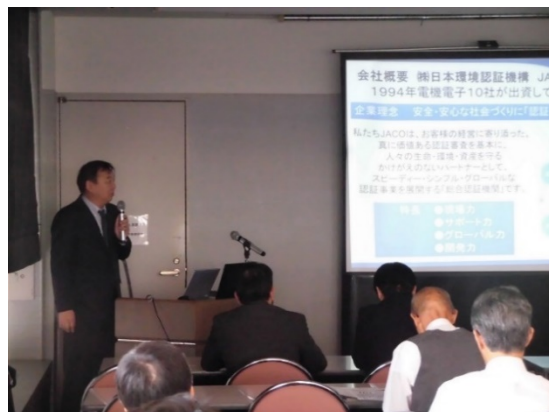
- ・「ISO14001の移行対応および実践」

株式会社クボタ 京葉工場 環境安全課 課長 宮田 健司様

水道管に使用される大口径鋳鉄管の製造における、環境、安全、品質のマネジメントシステムの構築と運用、2015年版への移行の経緯、さらにはそれらの統合化へのみちすじをご紹介いただきました。

第3部 個別相談会

千葉市内の事業者からISOの認証取得の意義、ISOのマネジメントシステム運用の概要及び認証取得までのアプローチについての相談があり、EC千葉EMS支援センターの担当者が相談に応じました。



### 第21回企業環境セミナー プログラム

<2015年版改定ISOへの対応及び実践>

開催日時 平成30年11月16日(金)13:00~16:30

会場 千葉商工会議所 14階第2ホール

第1部 講演

「2015年版EMS/QMSの活用状況～環境/品質ISOを使いこなす～」

株式会社 日本環境認証機構 研修事業部 部長 三浦 和行氏

第2部 事業者からの取組みの事例紹介

(1)「2020東京オリンピック・パラリンピック卓球競技の成功に向けて」

株式会社 三英 品質管理室 課長 松井 善也氏

(2)「ISO14001の移行対応および実践」

株式会社 クボタ 京葉工場 環境安全課 課長 宮田 健司氏

第3部 個別相談会

新入会員：(4月入会) 綿貫 沢 様 (成田市)  
 荒川 勤 様 (君津市)  
 (7月入会) 吉田 篤志 様 (千葉市)  
 (11月入会) 泉川 洋二 様 (鎌ヶ谷市)

会員の皆様のご協力により、2018年に  
 4名の仲間が新入会されました。  
 今後もお知合いの方などをお誘いいた  
 だくようお願いいたします。

### 第17回通常総会の案内

日 時：2019年5月19日(日) 13:00-17:00

場 所：千葉市民会館3階特別会議室 千葉市中央区要町 1-1 (Tel:043-224-2431)

次 第：

(1) 第17回通常総会 13時30分～14時50分 (受付は13時00分から)

議案 第1号議案 平成30年度事業報告並びに決算報告

第2号議案 平成30年度監査報告

第3号議案 2019年度事業計画案並びに予算案

第4号議案 定款の変更(事務所の移転)

第5号議案 役員の改選

なお、第5号議案については、新役員(理事および監事)への会員の皆様からの立候補を  
 お待ちしております。(4月15日までに理事長へお申し出下さい。)

(2) 特別講演会(環境公開講座) 15時00分～16時50分

演題(仮)：「地球温暖化と異常気象、我々はどう向き合うか」

講 師：国立環境研究所地球環境研究センター副センター長 江守 正多 氏

☆ 公開講座としてEC千葉の会員でない方にもご参加いただきます。

お知合いの方をお誘いください。

(3) 懇親会 18時00分～20時00分 [参加申込については別途案内します。]

### 総務部からのお礼

2018年8月～2019年2月の間に下記の方から当協議会へご寄付いただきました。  
 ありがとうございます。

戸村 泰 様 長田 彰 様 國廣 隆紀 様 志澤 達司 様  
 森川 礼子 様 上口 清彦 様 佐藤 ミヤ子 様 久保田 隆 様  
 久本 泰秀 様 松村 利治 様 國井 茂樹 様 有馬 富穂 様  
 濱中 道人 様 (受付順)

広報 環境カウンセラーちば 第54号 (発行日 2019年3月10日)

発 行：特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会 (発行責任：事務局長 橋本 正)  
 (編集担当：事務局次長 服部達雄)

事務局：〒275-0012 習志野市本大久保 4-9-4

(Tel & Fax) 047-478-3237 (E-mail) ta-hashimo@nifty.com

(URL) <http://ecchiba.sakura.ne.jp/>

<年会費等の振込先> 郵便振替口座 00110-5-34692

(加入者名 NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会)